

平成 29 年度決算概要及び第 2 期財政健全化プラン取組結果について

平成 29 年度決算の概要を取りまとめましたので、お知らせします。

また、第 2 期財政健全化プランの取組結果について取りまとめましたので、併せてお知らせします。

1 平成 29 年度決算概要

(1) 平成 29 年度決算のポイント

ア 実質収支の確保

一般会計の実質収支は、市税や地方消費税交付金の増収等により、31 億 5,200 万円を確保。なお、決算規模は、歳入・歳出とも過去最大。

歳入総額	4,387 億 6,300 万円 (対前年度 8.6%増)
歳出総額	4,349 億 3,100 万円 (対前年度 9.1%増)
※県費負担教職員の給与負担等の移譲を除くと、前年度比で減	
歳入総額	3,961 億 1,100 万円 (対前年度 1.9%減)
歳出総額	3,935 億 3,100 万円 (対前年度 1.3%減)

イ 国民健康保険事業の累積赤字の解消

平成 19 年度から発生していた国民健康保険事業の累積赤字は、アクションプランの推進や、一般会計からの繰入金が増などにより、11 年ぶりに解消。

ウ 将来負担の着実な低減

第 2 期財政健全化プラン（平成 26～29 年度）の主要目標として掲げた「主要債務総額の削減」は、対平成 24 年度比で 1,299 億円を削減し、目標を達成。

また、全会計の市債残高は、7 年連続で対前年度比 100 億円以上を削減し、プランの目標を達成するとともに、平成 16 年度以来、13 年ぶりに 1 兆円を下回った。

(2) 健全化判断比率等

ア 健全化判断比率

実質公債費比率及び将来負担比率については、いずれも前年度より改善。

実質公債費比率	15.8% (対前年度△1.5P、早期健全化基準 25.0%)
将来負担比率	159.4% (対前年度△26.8P、早期健全化基準 400.0%)

イ 資金不足比率

病院事業において、引き続き資金不足が生じ、資金不足比率は 0.9%となった。

2 第2期財政健全化プラン取組結果

(1) 主要目標の取組結果

「主要債務総額の削減」：目標を大きく上回って達成

目標：対平成24年度比で1,000億円削減 → 1,299億円削減

(単位：億円)

項目	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	H29-H24
建設事業債等残高(普通会計)	4,551	4,733	4,869	5,040	5,221	5,419	△868
債務負担行為支出予定額 (普通会計、建設事業分)	145	191	262	335	360	415	△270
基金借入金残高	267	287	297	307	312	312	△45
国民健康保険事業累積赤字額	0	55	77	85	99	116	△116
主要債務総額	4,963	5,266	5,505	5,767	5,992	6,262	△1,299

(2) 数値目標の進捗状況

実質公債費比率の抑制、将来負担比率の低減など、プランの数値目標は概ね達成

第2期財政健全化プラン(平成26年度～29年度)数値目標の達成状況

項目	数値目標(29年度)	26年度～29年度実績	達成状況	
主要債務総額の削減 【主要目標】	5,200億円程度まで削減 (H24比で1,000億円削減)	H29:4,963億円 (▲1,299億円)	○	
適正規模の市債発行	建設事業債(普通会計)発行額を 4年間で<860億円>⇒880億円以内	H26～H29 789億円	○	
市債残高の削減	市債(全会計)残高を 4年間で400億円削減	H29:9,941億円 (▲512億円)	○	
基金からの借入金の返済	毎年度20億円削減	45億円返済	×	
実質公債費比率の抑制	<21%>⇒19%未満を維持	H29:15.8% 県費移譲の影響を除いた場合 H29:16.6%	○	
将来負担比率の低減	200%未満に低減	H29:159.4% 県費移譲の影響を除いた場合 H29:172.6%	○	
徴 収 率	市税	<96.2%>⇒97.3%	H29:97.4%	○
	国民健康保険料	<76.1%>⇒78.8%	H29:76.8%	×
	介護保険料	96.7%	H29:97.0%	○
	保育料	95.6%	H29:96.4%	○
	住宅使用料	85.5%	H29:87.1%	○
	下水道使用料	95.1%	H29:95.9%	○
定員の削減	H31.4.1に▲80人 (H26.4.1比)	▲104人 (H30.4.1)	-	

※ 中間見直し(H28.3)を行った項目は<>に見直し前の数値目標を記載